

議会報告会会議録

1 開 会 日	平成27年11月15日（日）午後 4時00分 開会 午後 5時30分 閉会
2 場 所	保健センター 2階 研修室
3 出席議員	吉川重雄議長 （開会あいさつ） 坂田よう子副議長（閉会あいさつ） 竹内恵美子議員 （司会進行） 関 威國議員 （平成26年度決算のおもな審査内容について） 片野哲生議員 （公園緑地維持管理事業） 柴崎 茂議員 （子育て支援総合センター運営事務事業） 全議員 （少人数に分かれての意見交換） 奥津勝子議員 （記 録） 玉虫志保実議員 （ ” ） 三澤龍夫議員 （会場受付） 奥津勝子議員 （ ” ） 清田文雄議員 （マイク設置等） 二宮加寿子議員 （写真撮影） 渡辺順子議員 （パワーポイント操作）
4 参加者	18人
5 報告事項	(1) 平成26年度決算のおもな審査内容について (2) 少人数に分かれての意見交換

議長あいさつ、議員自己紹介の後、報告担当議員から決算審査についてパワーポイントを使い報告。その後、少人数に分かれての意見交換を実施した。

(1) あいさつ・・・吉川議長

平成 21 年 11 月 1 日に施行した「大磯町議会基本条例」の規程に基づき行っている議会報告会も 10 回目を迎えた。今回は平成 26 年度決算の審査における議論の経過・結果を報告する。

その後、少人数に分かれて意見交換を行う。日ごろ皆様が感じている身近な話題を一緒に話し合えればと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。議会報告会は、議員個人の意見を申し上げる場ではない。内容によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に替わって答弁するものではない点をご了解いただきたい。町に対するご意見は、後日、町にお伝えする。皆様からいただいたご意見、ご要望は今後の政策提言に繋げていきたい。

(2) 平成 26 年度決算のおもな審査内容報告

・・・関 威國議員、片野哲生議員、柴崎 茂議員

『議会だより大磯』第 180 号及び議会報告会資料に基づき、平成 26 年度決算に対する決算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。昨年に試行実施した事務事業評価を今年も実施。公園緑地維持管理事業及び子育て支援総合センター運営事務事業（つどいの広場等）についての評価結果を報告。

◎主な質疑

問： パワーポイントの活用により議会報告会も非常にわかりやすくなったが、予算が実際にどのように使われるのか、議会として内容の確認が弱い感じがする。例えば、高麗公衆トイレについては規模が小さくまるで家庭のトイレのようだ。高来神社はイベントも多く、このトイレで賄えるのかと疑問に思う。なぜ作るのか、何のために作るのか、そういったこともハッキリさせるべきである。事業が終了してから良い悪いと言ったのでは間に合わない。町だけでは判断できないことも多い。もう一步踏み込んで、内容まで正してから予算を執行するようにするべきだ。

答： いただいた意見を受け止め、しっかりと監視していきたい。

問： 安全保障関連法案は国民的議論が続いていた問題である。憲法学者の 9 割が反対し、国会での審議も不十分であった。「安全保障関連法案の策定の中止を求める意見書の採択を求める陳情」については、大磯町議会でもしっかりと議論してほしかったが机上配布となっている。どのような過程で机上配布となったのか。

答： 提出された陳情は議会運営委員会において取り扱いを協議する。委員会は議員7名で構成されているが、1名欠席のため議員6名が陳情の取扱基準に基づき審査を行った。結果、委員会付託2名、机上配布3名となり、机上配布と決定した。

問： 町の火葬料補助金が年々下がっている。税金を納めている身としては、不満がある。今までどおり補助してほしい。

答： ご意見として受け止めさせていただく。

問： 学校図書購入費での図書購入は、教科書に載っている課題図書を揃えるだけで精一杯であり、大磯小学校での配架率は昭和からの古い図書を含め国基準の90%程度という話を聞く。図書室は子どもの教室の一部である。学校図書購入費を増やし、図書館司書の先生が子どもたちの状況を見て本の選定を行えるようにしてほしい。

答： 多くの議員が、図書館や図書の重要性、また、図書館司書の必要性を訴えてきており、町も今年度からかなり充実した司書の配置となった。実際の本がどのような選定が良いか、司書を中心に行っていけるよう議会からも投げかけていきたい。

問： リサイクルセンター建設にあたり、再生可能エネルギー利用についての話しは出ているか。また、施設建設の中間報告について町民が知ることはできるのか。

答： リサイクルセンターには太陽光パネルが設置される。また、子どもたちがエネルギーやごみ処理について学習できる学習施設を一緒につくる計画もある。大磯町議会は全ての会議を公開としている。議会への報告がある際には、会議を傍聴することができるので、是非お越しいただきたい。

(3) 少人数に分かれての意見交換

はじめての試みとして、少人数に分かれての意見交換を実施。参加者、議員それぞれが4グループに分かれ、意見交換のテーマは決めず、身近な話題について話し合いを行った。

◎主な意見

グループ1 (町民4名・議員3名 (竹内恵美子議員・関威國議員・鈴木京子議員))

意： 町内会の運営や会館の使用方で困っている。町内会の運営に関して、町で同じようなルールをつくることはできないのか。

意： 役場隣の葬儀場で困っている。隣地の駐車場を参列者が使用しトラブルに

なったり、匂いも気になる。また、棺が丸見えなので目隠しがほしい。駐車場が奥深いので事件が心配だ。

意： 町の火葬料補助金が下がったが、その分を葬儀社が町民サービスとして立て替えているような形になっている。なんとかならないものか。

意： 陳情審査にあたりきちんと議論を行ってほしい。また、賛成者、反対者を知りたい。

グループ2（町民2名・議員3名（三澤龍夫議員・奥津勝子議員・清田文雄議員））

意： 第2子に対する保育料無料化は、将来的に町の大きな負担となるのではないか。町の見通しが甘いと感じる。

意： 旧吉田茂邸の再建工事が行われているが、今後の維持管理費が気にかかる。果たして維持管理費が賄えるほど集客力があるか疑問だ。

意： 国府本郷、国府新宿は海岸侵食が激しく、年々海岸が狭くなっている。海岸侵食の要因は何か。

意： 消防署と比べ消防団は費用が掛からない。消防署員を減らし消防団を充実させたらどうか。

グループ3（町民2名・議員3名（二宮加寿子議員・玉虫志保実議員・高橋英俊議員））

意： 高麗公衆トイレのデザインを学生に任せるのはいいが、そのまま採用するのは如何なものか。町は人に聞くことをしない。一事が万事、ほとんど町が決めてきて入り込む余地がない。途中段階でよく話しをして決める。目先のことしか考えないで、関係者に話しを聞き優先順位をつけて決めていくなどするようにするべきだ。ハードはできたら何年もそのままになる。やり直しはきかない、議会が事前に状況を調べ審議できるようにすべきである。

意： 大磯小学校で野球をしていると、ボールが聖ステパノ学園に飛んでいってしまう場合がある。取りに行く子どもも心配だが、ボールによる事故が起きないかも心配だ。子どもがのびのびと運動できるよう、グラウンドのフェンスを高くしてほしい。

グループ4（町民3名・議員3名（片野哲生議員・渡辺順子議員・柴崎茂議員））

意： 大磯恒道会の状況が心配だ。空きベッドも多く、職員の退職も多いと聞く。町民生活に密着している問題なので、もっと議員に関心を持ってもらいたい。

意： 高麗公衆トイレの改修が入札不調により翌年度に繰り越しとなっているが、事業を執行する前段階での議会のチェックが必要なのではないか。

意： 議会報告会もパワーポイントの活用でわかりやすくなってきたが、数字を示すだけでなく、課題や問題点についても示すべきだ。

意： 下水道事業にかかわる町債が多い。接続率を向上させる必要があるのでは

ないか。

意： 議会報告会の回数を増やすべきではないか。町長ばかりが町民と対話を行っている。町長と町議会は両軸と言われている。もっと人が集まるように工夫してほしい。

意： 山王町の松並木敷の松は間引きが必要だが、町に言ってもやってもらえない。きちんと管理すべきだ。

(4) 閉 会
